

ぼくらのジイジ

ぼくのジイジはスーパーおじいちゃんです。三月十一日の地しんの時、だれよりも早くぼくを学校へむかえに来てくれました。ぼくが下校時間だったので、もしかしたらプロックベいの下じきになっているのではないかと心ばいして「颯太は!?」と言って、まだゆれがおさまらない時から家をとび出してぼくをむかえに来てくれたそうです。ぼくは、地しんの時、校庭でサッカーをして遊んでいました。外で走って遊んでいたぼくにもわかるくらいの大きな地しんでした。その時の友だちや先生たちの様子からも、これはただの地しんじじゃないという事はわかりました。ぼくは、とてもこわくてなきそうになりました。そんな時に、ジイジがすぐむかえに来てくれました。ジイジを見つけた時、すぐうれしくてまた、なきそうになりました。とても安心しました。

地しんの後、父の仕事はともいそがしくなり、父と会えない日が何日もつづきました。でも、ぼくはいつもジイジがそばにいてくれたので心強かったです。いっしょに水をくみに行ったり、買い物にならんだったりしました。父に会え

宮城県
多賀城市立山王小学校 三年

熊谷 颯太

なくとも、ジイジが野きゆうやサッカーをして遊んでくれました。昔の遊びも教えてくれました。カンけりや少し変わったジャンケンが楽しかったです。てい電の時でも楽しく遊べるのがわかりました。ジイジは遊びの天才だと思いました。あの時、(さむくて、いつまでも暗い日がつづくのかなあ)と思つたけど、ジイジがいたからぜんぜんこわくなくなかったです。(ジイジがいなかったら、ぼくは母と弟二人でどうしていたんだろう、ぼくはジイジのようにできたかなあ)

ジイジはサーフィンをします。今は地しんでサーフィンに行けません。そのうちおちついたらいっしょにサーフィンに行きたいです。行く車の中で、たくさん事を教えてほしいです。これからも、ずっといっしょにいたいのです。いつもは、はざかしくてちゃんとさえないので、今日はちゃんとあります。ジイジ、いつもいろんな所につれて行って行ってありがと

う。いっぴい遊んでくれてありがとう。いろんな事を教えてくれてありがとう。これからも、たくさん遊んで、たくさん事をぼくに教えてください。大すぎです。ジイジ、ありがと。